

プロジェクト名：“藍のAMAKUSA宝島”未来へつなぐ藻場再生プロジェクト



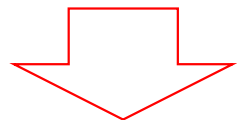
プロジェクトの概要

- 熊本県天草市は四方を海に囲まれ、水産資源が豊かなまちであり、古くから様々な漁業が営まれている。
- 本市では、藻場の保全・再生活動を実施し、2016年より漁業者と一体となった藻場再生造成や資源管理への取組を実施している。
- また、2019年度から2023年度にかけて、漁業者と協働して海岸線から目視やドローンなどを用いて、独自でアマモ場分布調査を実施し、藻場の減少・消失状況など現状確認を行った。
- 2020年度より、アマモ場の分布域が減少・消失した地先にて、アマモ場の造成活動を開始し、継続的なモニタリングを実施している。
- 2024年3月には、本市管内の7つすべての漁業協同組合、有識者、高校などが一体となって「天草市ブルーカーボン推進協議会」を設立し、今後は官民一体となって活動のさらなる拡大を目指していく。



プロジェクトの特徴・PRポイント

- ◆アマモ場などの藻場保全・再生活動を行うことで、小魚や甲殻類などの棲みかになるだけでなく、海洋中のCO2吸収が図られている。
- ◆トサカノリやワカメ等の海藻増・養殖の普及拡大や植食魚類（イスズミ等）の駆除・商品化を図ることは、漁業所得の向上のみならず新たなCO2吸収源としての可能性がある。
- ◆高校生と漁業者との協働調査などを通じた海洋環境教育を実施することは、浜の活性化のみならず、将来の担い手確保にも繋がる。



天草市ブルーカーボン推進協議会の活性化

◎「資源を生かした持続的な水産業の振興」・「脱炭素社会の実現」を目指す

■アマモ場造成



■トサカノリ養殖試験



■高校生と漁業者との協働調査

